

木 学ぶ 育つ

金

アスリートを支える
青春スクロール

土

ベースタース
カルチャース

日本文化 民舞で学ぶ
湘南学園小が8日発表会



山形から招いた師匠に花笠踊りを習う
2年生=9月3日、湘南学園小提供

グローバル化する時代の中で心と体を通して日本の文化を学ぼうと、湘南学園小学校(藤沢市)の児童らが民舞に取り組んでいる。雨乞いや大漁を願う踊りなど古来伝わる踊りに1カ月間取り組んだ成果を、8日、「たいいく表現まつり」で発表する。
同校が民舞を採り入れた

のは1991年。体育担当だった河本洋子・現校長が研修会に通ったり日本各地の祭りを見に行ったりしながら、岩手の御神楽や沖繩のエイサー、太刀を使った「七頭舞」などを採り入れて教えてきた。児童たちは休み時間も自主的に練習して毎秋の発表に臨み、その後は図工の授業で踊る姿を作品にする。太鼓や太刀などの小道具を卒業後もとっておくほど、思い入れのある行事になってい

る。
今年、踊りが伝わる地域の事前学習だけでなく、山形から花笠踊りの師匠を招き、2年生が直接指導を受ける機会も。河本校長は「民舞には人々の暮らしや自然観、神の観念などが込められている。卒業までの6種の踊りを通し古来の価

値観や考え方を学ぶことで、いつか海外に出ても言葉を超えて理解しあう素地になれば」と話す。
発表は8日午前9時35分から。入学希望者など保護者以外も見学できる。問い合わせは同校(0466・23・6613)へ。
(木下あゆ)